

自交総連は5月10日、第2回中央闘争委員会（第4回常執）を開き、「2017年春闘 最終決着にむけた対策」を決定した。各地連（本）においては、この闘争方針に従い、春闘前進にむけ奮闘されるよう要請する。

2017年春闘 最終決着にむけた対策

1. 白タク合法化阻止闘争の前進を

- ハイタク8団体の協議（5月10日）をふまえ、共同のとりくみを追求していく。
- 6月7日に楽天本社（東京・二子玉川）前の宣伝行動を、東京地連、関東ブロック、常執メンバーの参加で実施する。
- ジャスタビの白タク行為について、日本共産党国土交通部会議員団に国会質問を要請するなど協力をすすめ、白タク合法化につながることを阻止していく。

2. 5月中最終決着をめざし個別対策強化を

- 各地連（本）は、それぞれの闘争状況をふまえ、ストライキを含む統一行動の独自設定と団体交渉の促進により、5月中の最終決着をはかる。
- 各地連（本）は、第1回中央闘争委員会で確認した3つの解決基準をふまえ、未解決組合への援助・指導など個別対策を重視する。

3. 安倍暴走政治ストップ、平和、憲法、くらしを守る運動の強化を

- すべての労働者の賃上げで個人消費の拡大・景気回復を、全国どこでも最低賃金時給1000円以上の実現のとりくみを重視し、5月25日の全労連中央行動（最賃デー）に参加していく。
- 共謀罪阻止、北朝鮮問題の外交的・平和的解決、森友疑惑解明、辺野古基地建設反対、安倍暴走政治ストップなど国民的課題と結合した共同のとりくみを重視し、地方ごとに県労連・国民春闘共闘の行動に参加する。

4. 組織拡大月間で対話と宣伝、加盟促進を

○すべての地連（本）は、引き続き、「組織拡大月間」（3～5月）の中で、職場内非組合員や未組織労働者、中立組合・親睦会への加盟呼びかけを積極的に行い、「組織強化拡大2か年計画」にもとづく前進をめざす。

【ブロック内未組織宣伝行動の計画】

関東＝4月20～22日（神奈川、静岡、山梨）

5月17～19日（千葉、茨城、埼玉）

関西＝4月11～13日（大阪、和歌山、京都）

九州＝5月15～19日（鹿児島）、22～26（佐賀）、28～6月3日（長崎）、
6～8日（大分）、その後福岡

以 上